

県道大原境三ツ木線（新田工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・太田藪塚ICまでスムーズにアクセスできるようにしてほしい。（地元住民）
- ・現道が狭く車両と歩行者のすれ違いが危険なため、安全に通行できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・生活道路に進入する車両を減らしてほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：太田市新田下田中町～小角田町
- 事業内容：バイパス整備 延長1.0km 道路幅 10.5m
- 事業期間：令和2年度～
- 現在の交通量：3,424台/日(自動車) (R3年度)
- 計画交通量：5,500台/日(自動車) (R12年度)

事業前

- ◆ 県道大間々世良田線から県道大原境三ツ木線への南北方向のアクセスが悪く、抜け道として車が生活道路に進入していました。



生活道路の状況



事業前の状況

事業後

- ◆ バイパスの整備により県道大原境三ツ木線へのアクセス性を向上させ、生活道路への進入を抑制させます。

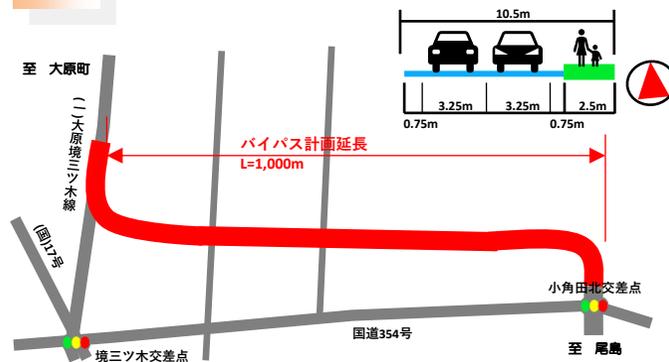


事業後のイメージ



事業位置
太田市

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得を進めます。



成果を示す項目	実施前
交差点の箇所数 (県道大原境三ツ木線～県道大間々世良田線)	2箇所
車両と歩行者のすれ違い	危険(歩道なし)

実施後(目標)
0箇所(2箇所減少)
安全(片側歩道2.5m)

事業のすすみ具合

事業開始



事業完了